

# 第30回中国四国IVR研究会

## プログラム

日時：平成28年9月30日（金）・10月1日（土）

会場：岡山国際交流センター

〒700-0026 岡山市北区奉還町2丁目2番1号

当番世話人 松永 尚文

山口大学大学院医学系研究科 放射線医学分野

# 交通のご案内



## アクセス

- JRでお越しの方  
「岡山駅」西口より徒歩5分
- お車でお越しの方  
岡山空港から約30分 岡山ICから約20分  
駐車場はございませんので、隣接の西口パーキング等をご利用ください。

# 会場のご案内

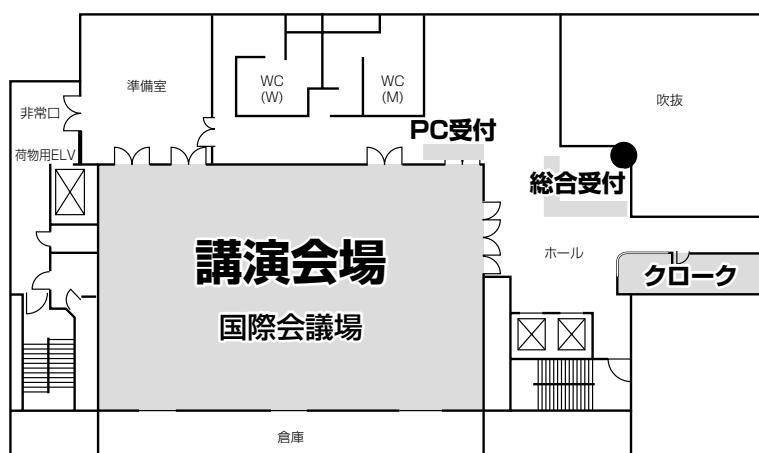
**7F**



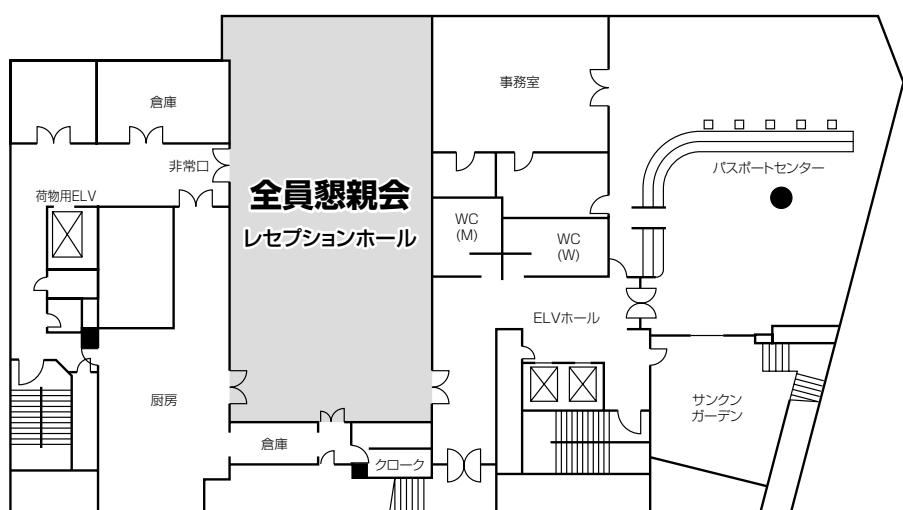
**5F**



**2F**



**B1F**



# 学会参加者の皆様へ

## ●参加受付

場 所：岡山国際交流センター 2F ロビー 総合受付

日 時：9月30日（金） 10：00～17：50

10月1日（土） 9：10～14：30

参加費：医師及び企業関係者 5,000円

メディカルスタッフ 3,000円

前期研修医 無料（指導医の証明が必要）

学生 無料（大学院生は除く）

受付にてネームカード（兼 参加証明書・領収書）をお渡しします。

参加証明証、領収書の再発行はできませんので大切に保管してください。

ネームカードに氏名・所属を記入のうえ、会場内では必ずご着用ください。

## ●全員懇親会のご案内

日 時：9月30日（金） 18：00～

会 場：岡山国際交流センター B1F レセプションホール

参加費は無料です。多数のご参加をお待ちいたしております。

## ●世話人会のご案内

日 時：10月1日（土） 9：10～9：40

会 場：5F 会議室1

## ●クローケ

受付場所：2F ロビー

受付日時：9月30日（金） 10：00～18：00

10月1日（土） 9：10～15：15

## ●プログラム進行情報

一般演題・要望演題 発表6分、質疑3分

※発表修了1分前：黄ランプ、終了時・超過：赤ランプ

## ●座長へのご案内

1) セッションの開始時刻15分前までに、会場前方の「次座長席」にご着席ください。

2) 担当セッションの時間管理をお願いいたします。

## ●演者へのご案内

### ◆PC受付

セッション開始の30分前までに、講演会場前のPC受付にお越しください。

9月30日(金) 10:00~/10月1日(土) 9:10~

### ◆発表データ持込み

1) 口頭発表は、すべてPC発表(PowerPoint 2003~2013で作成)のみといたします。

※PowerPoint 2016には対応しておりません。

2) 発表データは、USBフラッシュメモリ・CD-R(共にWindows限定)にてご持参ください。

お預かりしたデータは、学会終了後、事務局で責任を持って消去いたします。

3) フォントは特殊なものではなく、標準フォントをご使用ください。

フォント(日本語): MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝

フォント(英語): Arial、Century、Century Gothic、Times New Roman

4) ファイル名は、演題番号(半角)\_演者氏名としてください。

(例: 1B-01\_発表太郎) ※スペースは入れないでください。

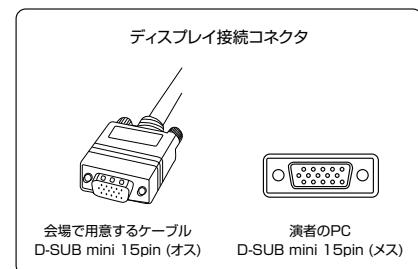
5) 画像の解像度はXGA(1024×768)となります。

### ◆PC本体持込み

1) 動画を含む場合、またMacintoshをご利用の方は、ご自身のPCをご持参ください。動画データ使用の場合は、Windows Media Playerで再生可能であるものに限定いたします。

2) 会場でご用意するPCケーブルコネクタの形状は、D-SUB mini 15pin(図参照)です。この出力端子を持つPCをご用意いただくか、この形状に変換するコネクタを必要とする場合には必ずご持参ください。電源ケーブルもお忘れなくお持ちください。  
※HDMIの直接接続には対応しておりません。変換コネクタを必ずご持参ください。

3) パスワード入力は“不要”とし、スクリーンセーバーならびに省電力設定は、事前に解除してください。



(図)

## ●抄録について

本研究会で発表された内容は本学会のホームページ(<http://ivr-chushi.jp/index.html>)および日本IVR学会誌に掲載されます。

## ●企業展示のご案内

会期中、7F 多目的ホールにて行います。

## ●会期中問い合わせ先

岡山国際交流センター

TEL: 086-256-2905(代表)

本プログラムは各自プリントアウトいただき、当日ご持参ください。

# 日 程 表

9月30日(金) 2F 国際会議場		10月1日(土) 2F 国際会議場	
10:00	受付開始	9:10	
10:30	開会の辞	9:40	受付開始
10:35	一般演題①：消化器疾患1 1～5 座長：馬場康貴（広島大学）	10:16	一般演題⑥：泌尿・生殖器1 30～33 座長：鳥越晃之（川崎医科大学）
11:20		10:20	一般演題⑦：泌尿・生殖器2 34～37 座長：則兼敬志（香川大学）
11:25	一般演題②：消化器疾患2 6～10 座長：田村泰治（高知大学）	10:56	
12:10		11:00	会長講演 座長：金澤 右（岡山大学） 演者：松永尚文（山口大学）
12:30	ランチョンセミナー1 座長：岡田宗正（山口大学） 演者：松井裕輔（岡山大学） 共催：テルモ株式会社	11:40	
13:30		11:45	要望演題：会心の症例、巧みの技 38～39 座長：田辺昌寛（山口大学）
13:40	一般演題③：非血管IVR 11～17 座長：石井裕朗（岡山市立市民病院）	12:03	
14:43		12:20	ランチョンセミナー2 座長：平木隆夫（岡山大学） 演者：浅山良樹（九州大学） 共催：バイエル薬品株式会社
14:50	一般演題④：静脈 18～22 座長：佐野村隆行（香川大学）	13:20	
15:35		13:30	一般演題⑧：胸部・肺循環 40～43 座長：中村 恩（島根大学）
15:40	一般演題⑤：門脈 23～29 座長：矢田晋作（鳥取大学）	14:06	
16:43		14:10	一般演題⑨：塞栓・その他 44～48 座長：岩本誠司（徳島大学）
16:50	特別講演（イブニングセミナー） 座長：山上卓士（高知大学） 演者：長谷部光泉（東海大学） 共催：日本ストライカー株式会社	14:55	閉会の辞
17:50		15:00	
18:00	全員懇親会 [B1F レセプションホール]		

## 会長講演

会長講演 第2日目 10月1日(土) 11:00~11:40

座長：金澤 右（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線医学 教授）

「IVR今昔物語」

松永尚文 先生

山口大学大学院医学系研究科 放射線医学分野 教授

## ランチョンセミナー

ランチョンセミナー1 第1日目 9月30日(金) 12:30~13:30

座長：岡田宗正（山口大学医学部附属病院 放射線部 准教授）

「ハイドロコイルの特徴と使用経験」

松井裕輔 先生

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線医学 助教

共催 テルモ株式会社

ランチョンセミナー2 第2日目 10月1日(土) 12:20~13:20

座長：平木隆夫（岡山大学病院 放射線部 准教授）

「IVR医が知っておくべきCTAP/CTHA update」

浅山良樹 先生

九州大学 先進画像診断・低侵襲治療学共同研究部門 教授

共催 バイエル薬品株式会社

## 特別講演(イブニングセミナー)

特別講演(イブニングセミナー) 第1日目 9月30日(金) 16:50~17:50

座長：山上卓士（高知大学医学部 放射線医学講座 教授）

「Targetシリーズ～製品特性と効果の期待できる症例～」

長谷部光泉 先生

東海大学医学部医学科 専門診療学系画像診断学(付属八王子病院) 教授

共催 日本ストライカーブル株式会社

## 一般演題 第1日目 9月30日(金)

[一般演題①] 消化器疾患1 10:35~11:20

座長：馬場康貴（広島大学 放射線診断学）

### 1 TACEにおけるプロキシマルサイドホールマイクロバルーンカテーテルの使用経験

高知大学医学部 放射線科

○吉松梨香，山上卓士，仰木健太，田村泰治，山西伴明

### 2 経皮的内視鏡的胃瘻造設術に伴う上腹壁動脈損傷の1例

<sup>1</sup>愛媛大学医学部附属病院 救急科, <sup>2</sup>愛媛大学医学部附属病院 放射線科,

<sup>3</sup>愛媛大学医学部附属病院 消化器内科

○大下宗亮<sup>1</sup>，田中宏明<sup>2</sup>，望月輝一<sup>2</sup>，有光英治<sup>3</sup>

### 3 当院におけるConventional TACE不応肝細胞癌に対するDEB-TACEの初期治療成績について

<sup>1</sup>広島大学病院 放射線診断科, <sup>2</sup>広島大学病院 消化器代謝内科

○富士智世<sup>1</sup>，馬場康貴<sup>1</sup>，福本 航<sup>1</sup>，梶原賢司<sup>1</sup>，石川雅基<sup>1</sup>，栗井和夫<sup>1</sup>，相方 浩<sup>2</sup>，  
茶山一彰<sup>2</sup>

### 4 術後出血に対してステント補助下にステアリングカテーテルを用いたコイル塞栓術の1例

山口大学 放射線科

○伊原研一郎，岡田宗正，加藤雅俊，田辺昌寛，藤澤利充，飯田悦史，松永尚文

### 5 胸腔内破裂にて発見された肝細胞癌の一例

徳島県立中央病院 放射線科

○小林直登，藤野敬大，米田和英，長瀬紗季，瀧 雅子，能勢隼人，小亀雅広，山下 恭，  
向所敏文

**6 ステント留置術が奏功した上腸間膜動脈狭窄症の2例**

鳥取県立中央病院 放射線科  
○中村一彦, 松末英司, 藤原義夫

**7 脳死肝移植後の吻合部仮性動脈瘤に対して stentgraft で治療した1例**

広島大学 放射線診断科  
○岸田直孝, 石川雅基, 梶原賢司, 福本 航, 富士智世, 須磨侑子, 飯田 優, 粟井和夫

**8 難治性出血性十二指腸潰瘍に対し動脈塞栓術を施行した小児の1例**

香川大学医学部 放射線医学講座  
○佐野村隆行, 高見康景, 三田村克哉, 田中賢一, 則兼敬志, 木村成秀, 西山佳宏

**9 食道穿破をきたした動脈管動脈瘤に対して塞栓術を行った1例**

<sup>1</sup>松江赤十字病院 放射線科, <sup>2</sup>松江赤十字病院 外科, <sup>3</sup>松江赤十字病院 心臓血管外科,  
<sup>4</sup>松江赤十字病院 麻酔科, <sup>5</sup>鳥取大学医学部 病態解析医学講座画像診断治療学分野  
○仲松 晓<sup>1</sup>, 森岡伸夫<sup>1</sup>, 柿手 卓<sup>1</sup>, 北角泰人<sup>2</sup>, 斎藤雄平<sup>3</sup>, 坂下真依<sup>4</sup>, 小川敏英<sup>5</sup>

**10 腸回転異常症に合併した空腸憩室出血に対してTAE直前の内視鏡止血クリップ留置  
が出血血管の同定に有用であった1例**

<sup>1</sup>下関市立市民病院 放射線診断科, <sup>2</sup>下関市立市民病院 消化器内科  
○箕田俊文<sup>1</sup>, 濑戸明香<sup>1</sup>, 山口 敏<sup>2</sup>, 濱田広之<sup>2</sup>, 具嶋正樹<sup>2</sup>

**11 肝細胞癌に対するCTガイド下RFA前の希釀リピオドールによるマーキングの試み**

県立広島病院 放射線診断科

○黒瀬太一，末岡敬浩，田村彰久，岡崎 肇，小林昌幸

**12 後腹膜膿瘍内に脱落した外科用クリップを細径内視鏡を用いて経皮的に摘出した1例**

<sup>1</sup>鳥取市立病院 放射線科，<sup>2</sup>鳥取大学医学部附属病院 放射線科

○橋本政幸<sup>1</sup>，加藤亜結美<sup>1</sup>，松木 勉<sup>1</sup>，矢田晋作<sup>2</sup>，大内泰文<sup>2</sup>，小川敏英<sup>2</sup>

**13 肝膿瘍におけるソナゾイド造影超音波ガイド下穿刺の有用性**

<sup>1</sup>山陰労災病院 放射線科，<sup>2</sup>鳥取大学医学部 放射線科

○井隼孝司<sup>1</sup>，高杉昌平<sup>1</sup>，小川敏英<sup>2</sup>

**14 転移性肝腫瘍に対するRFAの検討**

<sup>1</sup>中国労災病院 放射線科，<sup>2</sup>中国労災病院 内科

○帖佐啓吾<sup>1</sup>，内藤 晃<sup>1</sup>，久賀祥男<sup>2</sup>

**15 経静脈的肝生検後に敗血症性ショックを来し死亡した一例**

広島大学病院 放射線診断科

○須磨侑子，石川雅基，富士智世，福本 航，梶原賢司，寺田大晃，谷 千尋，馬場康貴，栗井和夫

**16 急性脾炎後の被包化壊死に対する経皮的ドレナージの治療戦略**

高知医療センター 放射線科

○河野通彦，大西伸也，秦 康博，野田能宏，松坂 聰，森田莊二郎

**17 頸部の魚骨穿通に対して術前VATSマーカー留置が有用であった1例**

<sup>1</sup>姫路赤十字病院 放射線科，<sup>2</sup>姫路赤十字病院 耳鼻咽喉科，<sup>3</sup>岡山大学医学部 放射線科

○宇賀麻由<sup>1</sup>，岡本聰一郎<sup>1</sup>，乗金精一郎<sup>1</sup>，武本充広<sup>1</sup>，松原伸一郎<sup>1</sup>，三森天人<sup>1</sup>，橘 智靖<sup>2</sup>，小松原靖聰<sup>2</sup>，金澤 右<sup>3</sup>

**18 感染後CVポート抜去困難となった1例**

鳥取大学医学部 放射線科

○大内泰文, 矢田晋作, 足立 憲, 遠藤雅之, 塚本和充, 松本顕佑, 小谷美香, 小川敏英

**19 右内頸静脈アプローチでDewXポートシステムを留置後にカテーテル離断を来たした1例**

鳥取大学医学部 放射線科

○矢田晋作, 大内泰文, 足立 憲, 遠藤雅之, 塚本和充, 松本顕佑, 小谷美香, 小川敏英

**20 悪性下大静脈症候群に対してNiti-S大腸用ステントを留置し、水分管理に難済した1例**

岡山大学医学部 放射線科

○小牧稔幸, 郷原英夫, 平木隆夫, 生口俊浩, 藤原寛康, 櫻井 淳, 松井裕輔, 正岡佳久,  
金澤 右

**21 EN Snare Catheterを用いた深部静脈血栓症(DVT)に対する血管内治療の提案**

<sup>1</sup>松江生協病院 放射線科, <sup>2</sup>島根大学医学部 放射線科, <sup>3</sup>島根県立中央病院 放射線科

○中村友則<sup>1</sup>, 荒木久寿<sup>1</sup>, 吉田理佳<sup>2</sup>, 中村 恩<sup>2</sup>, 吉廻 豊<sup>2</sup>, 北垣 一<sup>2</sup>, 丸山光也<sup>3</sup>

**22 頻回な人工血管ブレッドアクセス閉塞に対しステント留置が有効であった一例**

<sup>1</sup>医療法人住友別子病院 放射線IVR科, <sup>2</sup>医療法人住友別子病院 放射線部,

<sup>3</sup>岡山大学医学部 放射線科

○沼 哲也<sup>1</sup>, 井石龍比古<sup>1</sup>, 内ノ村聰<sup>2</sup>, 金澤 右<sup>3</sup>

**23 ストーマ静脈瘤出血に対してIVRを行った2例**

鳥取大学医学部 放射線科

○小谷美香，大内泰文，矢田晋作，足立 憲，遠藤雅之，塚本和充，松本顕佑，小川敏英

**24 肝外門脈閉塞症術前検査として、wedged hepatic venographyおよびCTAPを施行した1例**

<sup>1</sup>岡山医療センター 放射線科，<sup>2</sup>岡山医療センター 小児外科，<sup>3</sup>岡山大学 放射線科

○向井 敬<sup>1</sup>，田邊 新<sup>1</sup>，小河七子<sup>1</sup>，丸中三菜子<sup>1</sup>，清水光春<sup>1</sup>，新屋晴孝<sup>1</sup>，中原康雄<sup>2</sup>，金澤 右<sup>3</sup>

**25 胆管癌術後の急性門脈血栓に対して門脈ステントを留置した1例**

<sup>1</sup>福山市民病院 放射線診断・IVR科，<sup>2</sup>岡山大学医学部 放射線科

○兵頭 剛<sup>1</sup>，丸川洋平<sup>1</sup>，岸亮太郎<sup>1</sup>，土橋一代<sup>1</sup>，井田健太郎<sup>1</sup>，金澤 右<sup>2</sup>

**26 十二指腸静脈瘤に対してマイクロバルーンカテーテルを用いてB-RTOを施行した1例**

<sup>1</sup>徳島大学病院 放射線診断科，<sup>2</sup>徳島赤十字病院 放射線科

○木下光博<sup>1</sup>，岩本誠司<sup>1</sup>，河野奈緒子<sup>1</sup>，山中森晶<sup>1</sup>，宮本加奈子<sup>1</sup>，荒瀬真紀<sup>1</sup>，原田雅史<sup>1</sup>，新井悠太<sup>2</sup>

**27 術前PTPEにおける穿刺トラクトからの出血予防について**

<sup>1</sup>鳥取市立病院 放射線科，<sup>2</sup>鳥取市立病院 外科，<sup>3</sup>鳥取大学医学部附属病院 放射線科

○橋本政幸<sup>1</sup>，加藤亜結美<sup>1</sup>，松木 勉<sup>1</sup>，水野憲治<sup>2</sup>，大石正博<sup>2</sup>，矢田晋作<sup>3</sup>，大内泰文<sup>3</sup>，小川敏英<sup>3</sup>

**28 当院におけるTIPE(経回結腸静脈門脈塞栓術)の検討**

島根大学医学部 放射線科

○中村 恩，吉田理佳，丸山美奈子，安藤慎司，吉廻 肇，北垣 一

**29 巨大門脈-大循環シャントに対してコイル塞栓術を施行した肝性脳症の1例**

<sup>1</sup>愛媛県立中央病院 放射線科，<sup>2</sup>愛媛大学附属病院 放射線科

○高門政嘉<sup>1</sup>，川口直人<sup>1</sup>，村上忠司<sup>1</sup>，石丸良広<sup>1</sup>，井上 武<sup>1</sup>，三木 均<sup>1</sup>，田中宏明<sup>2</sup>

## 一般演題 第2日目 10月1日(土)

[一般演題⑥] 泌尿・生殖器1 9:40~10:16

座長：鳥越晃之（川崎医科大学 放射線科）

### 30 膀胱癌動注療法後に大臀筋壞死を来たした一例

鳥取大学医学部 放射線科

○塚本和充, 古谷美香, 松本顕佑, 遠藤雅之, 矢田晋作, 大内泰文, 小川敏英

### 31 腎囊胞に対し球状塞栓物質にて腎動脈塞栓術を施行した2例

香川大学医学部 放射線医学講座

○則兼敬志, 佐野村隆行, 高見康景, 三田村克哉, 田中賢一, 木村成秀, 西山佳宏

### 32 入院後に突然出血した腎腫瘍の1例

岡山大学病院 放射線科

○久住研人, 生口俊浩, 正岡佳久, 松井裕輔, 藤原寛康, 櫻井 淳, 平木隆夫, 郷原英夫,  
金澤 右

### 33 帝王切開瘢痕部妊娠に対しMTX投与と UAEの併用により子宮を温存し得た1例

<sup>1</sup>山陰労災病院 放射線科, <sup>2</sup>山陰労災病院 産婦人科, <sup>3</sup>鳥取大学医学部 放射線科

○高杉昌平<sup>1</sup>, 井隼孝司<sup>1</sup>, 工藤明子<sup>2</sup>, 岩部富夫<sup>2</sup>, 大内泰文<sup>3</sup>, 小川敏英<sup>3</sup>

**34 腎血管筋脂肪腫に対してエンボスフィア®で動脈塞栓術を施行した一例**

<sup>1</sup>川崎医科大学附属川崎病院 放射線科, <sup>2</sup>聖マリアンナ医科大学 放射線科

○芝本健太郎<sup>1</sup>, 福原由子<sup>1</sup>, 浜田 聰<sup>1</sup>, 萩野裕香<sup>1</sup>, 加藤勝也<sup>1</sup>, 三村秀文<sup>2</sup>

**35 血管造影後に血栓閉塞した腎動静脈奇形の1例**

<sup>1</sup>姫路聖マリア病院 放射線科, <sup>2</sup>尾道市民病院 泌尿器科, <sup>3</sup>岡山大学 放射線科

○淀谷光子<sup>1</sup>, 大前健一<sup>1</sup>, 藤江俊司<sup>1</sup>, 能勢宏幸<sup>2</sup>, 平木隆夫<sup>3</sup>, 金澤 右<sup>3</sup>

**36 両側同時腎動脈塞栓症の1例**

<sup>1</sup>岡山赤十字病院 放射線科, <sup>2</sup>岡山大学病院 放射線科

○田尻展久<sup>1</sup>, 宗友一晃<sup>1</sup>, 金澤 右<sup>2</sup>

**37 巨大腎腫瘍に対して術前塞栓が有効であった1例**

山口大学 放射線科

○田辺昌寛, 岡田宗正, 加藤雅俊, 伊原研一郎, 藤澤利充, 飯田悦史, 松永尚文

**38 閉塞内腸骨動脈貫通後、末梢動脈塞栓術を施行した外傷性臀部出血の1例。**

あかね会土谷総合病院 放射線科

○佐藤友保

**39 心不全を来たした骨盤内high flow AVMの1例**

<sup>1</sup>山口大学 放射線科, <sup>2</sup>山口大学 循環器病態内科学, <sup>3</sup>山口大学 器官病態外科学

○岡田宗正<sup>1</sup>, 加藤雅俊<sup>1</sup>, 田辺昌寛<sup>1</sup>, 伊原研一郎<sup>1</sup>, 奥田真一<sup>2</sup>, 周布陽子<sup>2</sup>, 森景則保<sup>3</sup>,

山下 修<sup>3</sup>, 矢野雅文<sup>2</sup>, 濱野公一<sup>3</sup>, 松永尚文<sup>1</sup>

**40 特発性孤立性肺動脈瘤に対しコイル塞栓術を施行した1例**

<sup>1</sup>徳島大学病院 放射線診断科, <sup>2</sup>徳島赤十字病院 放射線科

○岩本誠司<sup>1</sup>, 木下光博<sup>1</sup>, 新井悠太<sup>2</sup>, 宮本加奈子<sup>1</sup>, 山中森晶<sup>1</sup>, 荒瀬真紀<sup>1</sup>, 河野奈緒子<sup>1</sup>, 原田雅史<sup>1</sup>

**41 墜落外傷にて末梢肺動脈損傷に伴う血胸に対し、TAEを施行した一例**

高知医療センター

○大西伸也, 河野通彦, 秦 康博, 野田能宏, 松坂 聰, 森田莊二郎

**42 術後気管支断端瘻に肺動脈断端出血を合併し、肺動脈塞栓術で救命した一例**

広島大学病院 放射線診断科

○三谷英範, 石川雅基, 富士智世, 福本 航, 梶原賢司, 寺田大晃, 谷 千尋, 馬場康貴, 粟井和夫

**43 外傷性胸筋出血に対し経皮的動脈塞栓術を繰り返し施行した後天性第XIII凝固因子欠損症の1例**

鳥取大学医学部 放射線科

○松本顕佑, 大内泰文, 矢田晋作, 足立 憲, 遠藤雅之, 高杉昌平, 塚本和充, 小谷美香, 小川敏英

**44 巨大肝囊胞の一例**

<sup>1</sup>岩国医療センター 放射線科, <sup>2</sup>岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 放射線医学

○矢吹隆行<sup>1</sup>, 原 武史<sup>1</sup>, 尾形 肇<sup>1</sup>, 和田裕子<sup>1</sup>, 金澤 右<sup>2</sup>

**45 IVRにおける仮想透視画像の有用性**

岡山大学医学部 放射線科

○正岡佳久, 平木隆夫, 郷原英夫, 生口俊浩, 藤原寛康, 松井裕輔, 梶田聰一郎, 浅野雄大,

馬越紀行, 小牧稔幸, 金澤 右

**46 若年性鼻腔血管線維腫に対しマイクロスフィアによる外科切除術前動脈塞栓術を施行した1例**

<sup>1</sup>高知医療センター 総合診療科, <sup>2</sup>高知医療センター 放射線科

○田所 司<sup>1</sup>, 河野通彦<sup>2</sup>, 秦 康博<sup>2</sup>, 野田能宏<sup>2</sup>, 大西伸也<sup>2</sup>, 松坂 聰<sup>2</sup>, 森田莊二郎<sup>2</sup>

**47 下肢浮腫を伴う骨盤内AVFの2治療経験**

近森病院 放射線科

○細田幸司, 清水和人, 時信麻美, 宮崎延裕

**48 大動脈内バルーン遮断における7fr RESCUE BALLOON®の有用性、当院での初期経験**

<sup>1</sup>関門医療センター 放射線科, <sup>2</sup>関門医療センター 総合診療科

○上田高顕<sup>1</sup>, 佃 利信<sup>1</sup>, 河村光俊<sup>1</sup>, 佐藤 穣<sup>2</sup>

## 協賛企業一覧

朝日インテック Jセールス株式会社  
エーザイ株式会社  
協和発酵キリン株式会社  
Cook Japan 株式会社  
コニカミノルタジャパン株式会社 ヘルスカンパニー  
GEヘルスケア・ジャパン株式会社  
シーメンスヘルスケア株式会社  
株式会社ジェイ・エム・エス  
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社  
住友ベークライト株式会社  
セント・ジュード・メディカル株式会社  
第一三共株式会社  
大日本住友製薬株式会社  
中外製薬株式会社  
テルモ株式会社  
株式会社東海メディカルプロダクツ  
東レ・メディカル株式会社  
日本イーライリリー株式会社  
日本化薬株式会社  
日本ストライカー株式会社  
日本ベーリングガーインゲルハイム株式会社  
株式会社根本杏林堂  
バイエル薬品株式会社  
株式会社パイオラックスメディカルデバイス  
PSP 株式会社  
株式会社日立製作所  
株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン  
富士製薬工業株式会社  
富士フィルムメディカル株式会社  
ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社  
宮野医療器株式会社  
メディキット株式会社  
株式会社メディコスピラタ  
株式会社メディコン

(50音順)

平成28年9月7日現在

1.9Fr New マイクロカテーテル

# ASAHI Tellus

Microcatheter

Stress-Freeへの誘い、よりセレクティブな手技へ

販売名：マイクロカテーテルV

医療機器承認番号：22400BZX00331000

特定保険医療材料機能区分：血管造影用マイクロカテーテル オーバーザワイヤー 選択的アプローチ型（ブレードあり）

# ASAHI Veloute

Microcatheter

ASAHIの技術を駆使した 1.7Fr 超選択的 マイクロカテーテル

販売名：マイクロカテーテルV

医療機器承認番号：22400BZX00331000

特定保険医療材料機能区分：血管造影用マイクロカテーテル オーバーザワイヤー 選択的アプローチ型（ブレードあり）

「ASAHI」、「ASAHI Tellus」及び「Veloute」は  
朝日インテック株式会社の日本国及びその他の国における商標または登録商標です。

製造販売元

 ASAHI INTECC

朝日インテック株式会社

〒489-0071 愛知県瀬戸市曉町3番地100  
TEL:0561-48-5551 FAX:0561-48-5552  
<http://www.asahi-intecc.co.jp/>

販売元

 ASAHI INTECC J-Sales  
朝日インテックJセールス株式会社

〒108-0075 東京都港区港南2-3-13 品川フロントビル5階  
TEL:03-6433-3100 FAX:03-5715-4700  
注文受付FAX:0570-000-675  
<http://www.asahi-inteccj.com/>

# DCBead®



器51 医療用嘴管及び体液誘導管  
高度管理医療機器 中心循環系血管内塞栓促進用補綴材 35449004

**ディーシー ビーズ® 100~300<sub>μm</sub>粒**

**ディーシー ビーズ® 300~500<sub>μm</sub>粒**

**ディーシー ビーズ® 500~700<sub>μm</sub>粒**

\* 使用目的又は効果、使用方法等及び警告・禁忌・禁止を含む使用上の注意等については添付文書をご参考ください。

\* 特定保険医療材料の機能別区分 183血管内塞栓材(3)動脈化学塞栓療法用として、保険収載されております。

販売名:ディーシー ビーズ  
医療機器承認番号:22500BZX00182000

製造販売元



エーザイ株式会社  
東京都文京区小石川4-6-10

製造元



Biocompatibles UKはBTGインターナショナル  
グループの会社である。[

製品情報お問い合わせ先: エーザイ株式会社 hhcホットライン  
フリーダイヤル 0120-419-497 9~18時(土、日、祝日 9~17時)

DCB1510M01

協和発酵キリン株式会社  
<http://www.kyowa-kirin.co.jp>

# たった一度のちと歩く。



# **KYOWA KIRIN**

私たちの志 検索

Occlude a wide range of vessel sizes by using the most comprehensive selection of embolization devices.

Tornado®  
Embolization Coil

MReye®  
Embolization Coil

Detach™  
Embolization Coil System

Nester®  
Embolization Coil

## PRODUCTS FOR EMBOLIZATION

販売名: クックエンボライゼーションコイル 承認番号: 15800BZY00720000  
販売名: クックエンボライゼーションコイル(プラチナ製) 承認番号: 21100BZY00302000

Physician choice,  
patient comfort.



## PRODUCTS FOR PERCUTANEOUS DRAINAGE

販売名: ウルトラサンドレナージカテーテルセット 承認番号: 20500BZY00349000  
販売名: PTCDセット 承認番号: 16100BZY00608000



製造販売元  
Cook Japan 株式会社  
〒164-0001 東京都中野区中野4-10-1  
中野セントラルパークイースト  
TEL: 03-6853-9470  
[www.cookmedical.co.jp](http://www.cookmedical.co.jp)



KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

安心して、どこでも使える  
DR



世界最軽量2.5kgを達成<sup>\*1</sup>

防水性能IPX6を確保<sup>\*2</sup>

高速スループットを実現

もっと軽く、もっと強く、もっと便利に

WIRELESS DIGITAL RADIOGRAPHY SYSTEM

**AeroDR PREMIUM**

AeroDR PREMIUMは、『デジタルラジオグラフィー AeroDR SYSTEM 2』(製造販売認証番号226ABBZX00050000)の呼称です。\*1:PREMIUM 1417Sの場合。PREMIUM 1417HQは2.6kg。ワイヤレスタイプ可搬型DRにおいて。2015年8月1日現在。  
\*2:落とす、ぶつけるなどの衝撃が加わった場合は、防水性能(IPX6相当)を維持できない恐れがあります。また、本製品の防水性能は、完全防水、無破損・無故障を保障するものではありません。

製造販売元:コニカミノルタ株式会社 販売元:コニカミノルタジャパン株式会社 105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 TEL(03)6324-1080(代) <http://www.konicaminolta.jp/healthcare>



世界で最も、  
高齢者の笑顔が  
輝いている国へ。

高齢者へのやさしさを追求し、  
新たなソリューションを開発しています。

高齢社会を見つめた最適な医療の形が、  
いま求められています。  
例えば、自宅と医療が密接につながった  
安心できる仕組みを。年齢を重ねることによるリスクを、  
可能な限り低減できるテクノロジーを。  
高齢者が、幸せで輝かしい人生を送れるような、  
やさしい医療環境をサポートするために、  
GEヘルスケアは皆さまとともに歩みつづけます。

**Silver to Gold.**



GE imagination at work

healthymagination

GEヘルスケア・ジャパン  
カスタマー・コールセンター 0120-202-021  
[www.gehealthcare.co.jp](http://www.gehealthcare.co.jp)

**SIEMENS**



スマートIVR-CTソリューション

## Angio-CT MIYABI

### 新しいインターベンションのかたち。

血管撮影装置Artis zeeシリーズと、X線CT装置SOMATOMシリーズの洗練されたコンビネーションが、腹部・体幹部における高度なIVR環境を実現します。

血管撮影装置Artis zeeシリーズの全身検査に対応する有機的なアームの動きやガイドィングツールへと進化を遂げた3Dプラットフォーム。そして、X線CT装置SOMATOMシリーズのピッチ制限のない高速スキャンを実現する高精度なガントリ自走機構が、据え置き型CT装置の高機能はそのままに高度なIVRを的確に支援します。

そしてもちろん、シーメンス独自の被ばく低減プログラム「CARE」によって、画像クオリティはそのままに、術者ならびに患者の安全性にも配慮しています。

Angio-CT MIYABI、それはシーメンスが提供するIVRのための最高峰ソリューションです。

[www.siemens.co.jp/healthcare/](http://www.siemens.co.jp/healthcare/)

据置型デジタル式循環器用X線透視診断装置  
アーティス zee T  
認証番号:218AIBZX00069A01

全身用X線CT診断装置  
SOMATOM デフィニションAS  
認証番号:220AIBZX00008000



LEONIS Mova (レオニスムーバ<sup>®</sup>)

# 混沌からの脱出

新しいマイクロカテーテル操作の時代へ

販売名：ステアリングマイクロカテーテル 医療機器承認番号：22600BZX00482000

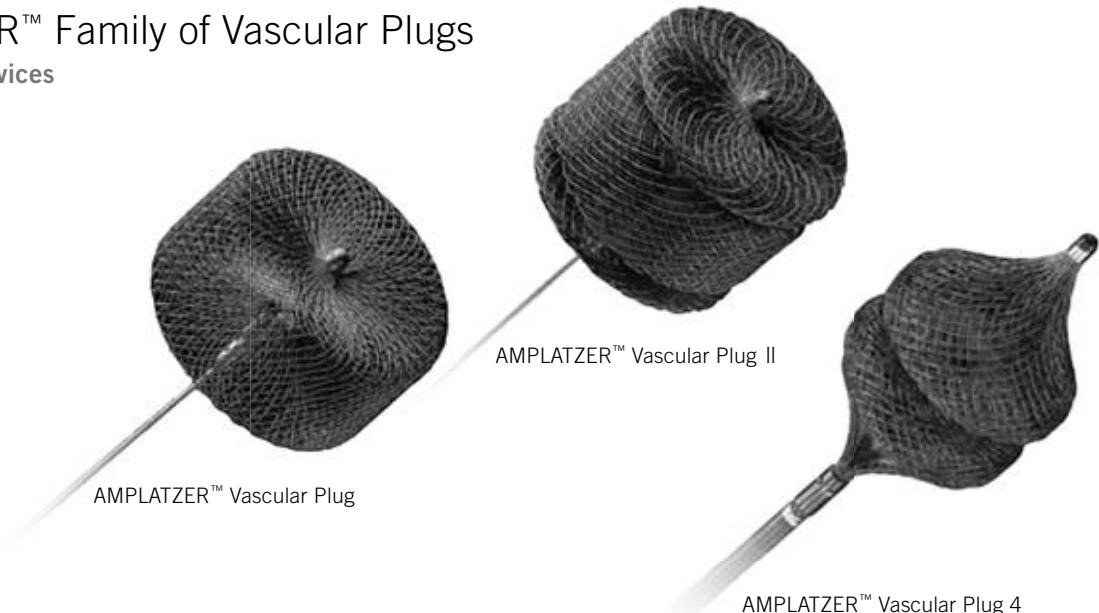
【お問い合わせ】

◆ 住友ベークライト株式会社 医療機器事業部

MAC開発部 インターベンション営業グループ 〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8 天王洲パークサイドビル ☎ 03(5462)4824

## AMPLATZER™ Family of Vascular Plugs

### Embolization Devices



# ADVANCING THE STANDARD OF CARE IN PERIPHERAL EMBOLIZATION

## 次世代の末梢血管塞栓スタンダードデバイス

### AMPLATZER™ Vascular Plug

#### Product Highlights

- 独自の自己拡張型メッシュ構造によりシングルデバイスでの効果的な塞栓を実現
- リポジショニング可能なデザインにより、コントロール性の高いデリバリーと留置が可能
- シングルロープ形状、一層のナイチノールメッシュデザインはショートランディングゾーンを可能にし、逸脱リスクの少ない理想的な塞栓を提供
- 4-6Fシーズ、5-8F血管造影用カテーテルによるデリバリーが可能
- 4-16mmのデバイス径が幅広い血管径に対応

### AMPLATZER™ Vascular Plug II

#### Product Highlights

- 独自の自己拡張型メッシュ構造によりシングルデバイスでの効果的な塞栓を実現
- リポジショニング可能なデザインにより、コントロール性の高いデリバリーと正確な留置が可能
- マルチブルロープ形状、多層のナイチノールメッシュデザインはより迅速な塞栓を実現
- 逸脱リスクの少ない理想的な塞栓を提供
- 4-7Fシーズ、5-9Fガイドカテーテルによるデリバリーが可能
- 3-22mmのデバイス径がより幅広い血管径に対応

### AMPLATZER™ Vascular Plug 4

#### Product Highlights

- 0.038インチ対応の血管造影用カテーテルにてデリバリーが可能
- 柔軟性の高いロープロファイルのワイヤー搭載で、蛇行血管において簡単な操作性を実現
- ダブルロープ形状、多層のナイチノールメッシュデザインは、より迅速な塞栓を提供



ST. JUDE MEDICAL™

販売名：AMPLATZER バスキュラーブラグ 承認番号：22400BZX00361000  
販売名：AMPLATZER バスキュラーブラグ 4 承認番号：22600BZX00240000

製造販売元：セント・ジュード・メディカル株式会社

注：本品のご使用に際しては、添付文書を必ずお読み下さい。

特に断りのない限り、TMマークはその名称がSt. Jude Medical社またはその子会社のいずれかの商標であるか、または同社が使用権を保持していることを示しています。ST. JUDE MEDICALおよび9つの正方形のシンボルは、St. Jude Medical社およびその関連会社の商標およびサービスマークです。©2015 St. Jude Medical, Inc. All Rights Reserved. 無断複写・複製・転載を禁じます。



## 非イオン性造影剤

処方箋医薬品® 薬価基準収載



# オムニパーク® OMNIPAQUE®

※注意—医師等の処方箋により使用すること

### 日本薬局方 イオヘキソール注射液(バイアル製剤)

オムニパーク300注50mL・100mL(尿路・血管用)  
オムニパーク350注50mL(尿路・血管用)  
オムニパーク350注100mL(血管用)

### イオヘキソール注(バイアル製剤)

オムニパーク240注20mL(尿路・血管用)  
オムニパーク300注20mL(尿路・血管用)  
オムニパーク350注20mL(尿路・血管用)  
オムニパーク180注10mL(脳髄・脊髄用)  
オムニパーク240注10mL(脳髄・脊髄用)  
オムニパーク300注10mL(脊髄用)

### イオヘキソール注(プラスチックボトル製剤)

オムニパーク140注50mL・220mL(血管用)  
オムニパーク240注50mL・100mL(尿路・血管用)  
オムニパーク300注50mL・100mL(尿路・血管用)  
オムニパーク300注150mL(血管用)  
オムニパーク350注50mL(尿路・血管用)  
オムニパーク350注100mL(血管用)

### 日本薬局方 イオヘキソール注射液

オムニパーク240注シリンジ100mL(尿路・血管・CT用)  
オムニパーク300注シリンジ50mL(尿路・CT用)  
オムニパーク300注シリンジ80mL・100mL(尿路・血管・CT用)  
オムニパーク300注シリンジ110mL・125mL・150mL(CT用)  
オムニパーク350注シリンジ45mL・70mL・100mL(血管・CT用)

★効能・効果・用法・用量・警告・禁忌および使用上の注意等の  
詳細につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売元(資料請求先)



第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

2015年9月作成

# 肝細胞癌におけるリピオドリゼーション適応が認められた初めてのプラチナ製剤



## 肝細胞癌治療剤 ミリプラ<sup>®</sup> 動注用 70mg MIRIPLA<sup>®</sup> 注射用ミリプラチニ水和物

### 警告

本剤は、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法及び肝細胞癌に対する局所療法（経皮的エタノール注入療法、ラジオ波熱凝固療法、マイクロ波凝固療法、肝動脈塞栓療法・肝動脈化學塞栓療法、放射線療法等）に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本剤が適切と判断される症例にのみ使用すること。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明し、同意を得てから実施すること。

### 禁忌（次の患者には投与しないこと）

- (1) 本剤、他の白金を含む薬剤又はヨード系薬剤に対する重篤な過敏症の既往歴のある患者
- (2) 重篤な甲状腺疾患のある患者〔本剤懸濁用液はヨード化合物であり、ヨード摂取量の増加により甲状腺障害を増悪させるおそれがある。〕
- (3) 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人〔添付文書の「妊娠・産婦・授乳婦等への投与」の項参照〕

原則禁忌（次の患者には投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること）

総ビリルビン値が3mg/dL以上の患者又は肝障害度Cの患者〔肝不全を起こすことがある。〕

### ■効能・効果

肝細胞癌におけるリピオドリゼーション

### ■用法・用量

ミリプラチニ70mgを本剤懸濁用液3.5mLに懸濁し、1日1回肝動脈内に挿入されたカテーテルより投与する。本剤の投与は、腫瘍血管に懸濁液が充满した時点で終了すること。ただし、上限を1回6mL（ミリプラチニとして120mg）とする。また、繰り返し投与する場合には、4週間以上の観察期間をおくこと。

### 【用法・用量に関連する使用上の注意】

1. 多孔性セラチン粒等の塞栓材を併用した場合の有効性及び安全性は確立していない。
2. 他の抗悪性腫瘍剤と併用した場合の有効性及び安全性は確立していない。
3. X線透視下に懸濁液が粒状になる速度で少量ずつ投与すること。〔重要な基本的注意〕の項参照〕

### ■使用上の注意

#### 1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- (1) 腎障害のある患者〔腎機能が低下しているので、副作用が強くあらわれるおそれがある。〕
- (2) 本剤、他の白金を含む薬剤又はヨード系薬剤に対する過敏症の既往歴のある患者〔「禁忌」の項参照〕
- (3) 甲状腺疾患のある患者〔「禁忌」の項参照〕
- (4) 高齢者〔添付文書の「高齢者への投与」の項参照〕
- (5) 血管造影で明らかな肝内シャントがある患者〔本剤が肝内シャントを介して正常組織に流入し、血管塞栓による重篤な副作用を起こすおそれがある。〕
- (6) 血管造影で明らかな門脈腫瘍栓がある患者〔門脈血が遮断されているため、本剤の投与により投与部位の血流が低下し、肝不全を起こすおそれがある。〕

### 2. 重要な基本的注意

- (1) 発熱がほとんど全例にあらわれるため、患者の状態を十分に観察し、解熱剤の投与等適切な処置を行うこと。
- (2) 肝機能障害があらわれることがあるので、定期的に肝機能検査を行なうなど、患者の状態を十分に観察し、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。
- (3) 本剤投与時にショック、血圧低下、徐脈等があらわれることがあるので、投与中及び投与直後は経過観察を十分に行い、異常が認められた場合には適切な処置を行うこと。
- (4) 横的とする部位以外への流入により、重篤な胃穿孔、消化管出血、胃・十二指腸潰瘍、脳梗塞、肺梗塞、肺塞栓・成人呼吸窮迫症候群、脊髄梗塞等が起るおそれがあるので、投与に際しては以下の点に注意すること。〔「用法・用量に関連する使用上の注意」の項参照〕
  - 1) 本剤は肝動脈（固有肝動脈、右肝動脈、左肝動脈、中肝動脈等）内投与にのみ使用すること。また、固有肝動脈より可能な限り末梢から投与すること。ただし、腫瘍の栄養血管が下横隔動脈、左胃動脈等肝動脈以外である場合は、それらの栄養血管の血管走行を十分検査し、投与すること。投与に際しては、本剤の大動脈への逆流及び胃十二指腸動脈内への流入を回避するように十分注意して、カテーテルを挿入しX線透視下に少量ずつ投与すること。
  - 2) 門脈本幹との著明なAPシャントのある患者に投与する場合には、シャントより肝側までカテーテルを挿入し、X線透視下で少量ずつ投与すること。

### 3. 副作用

臨床試験における安全性評価対象例113例の全例に副作用（臨床検査値の異常変動を含む）が認められ、主な副作用は発熱107例（94.7%）、CRP上昇103例（91.2%）、好酸球增多91例（80.5%）、NAG上昇86例（76.1%）等であった。（承認時）

#### ①重大な副作用

1) 肝機能障害（5～10%）、黄疸（頻度不明）、肝不全（頻度不明）  
本剤投与直後よりAST（GOT）、ALT（GPT）、ビリルビン、ALP、γ-GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがある。また、肝不全に至ることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、適切な処置を行うこと。

#### 2) 胆道障害（頻度不明）

胆炎、胆汁性囊胞、肝臓癌等の肝・胆道障害があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、適切な処置を行うこと。

#### 3) 感染症（1%未満）

感染症が併発した場合に重症化して敗血症（1%未満）があらわれることがあるので、患者の全身状態を十分に観察し、異常が認められた場合には、適切な処置を行うこと。本剤投与直後及び投与後1週間以降に発熱が認められることがあるので、経過観察を十分に行い、発熱の遷延が認められ、感染症の兆候がある場合は、感染症に対する処置も行うこと。

#### 4) 骨髄抑制（1%未満）

好中球減少（1%未満）等の骨髄抑制があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、適切な処置を行うこと。

#### 5) ショック、アナフィラキシー様症状（頻度不明）

ショック、アナフィラキシー様症状があらわれることがあるので、観察を十分に行い、呼吸困難、血圧低下等の異常が認められた場合には、直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。

#### 6) 間質性肺炎（頻度不明）

間質性肺炎があらわれることがあるので、発熱、咳嗽、呼吸困難等の臨床症状を十分に観察し、異常が認められた場合には、胸部X線、胸部CT、血清マーカー等の検査を実施すること。間質性肺炎が疑われた場合には、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。

#### 7) 急性腎不全（頻度不明）

急性腎不全等の重篤な腎障害があらわれることがあるので、観察を十分に行い、BUN、血清クレアチニン値等の異常が認められた場合には、適切な処置を行うこと。

●その他の使用上の注意は、添付文書をご参照ください。

製造販売元（資料請求先）

大日本住友製薬株式会社

〒541-0045 大阪市中央区道修町 2-6-8

〈製品に関するお問い合わせ先〉

くすり情報センター

TEL 0120-034-389

受付時間／月～金 9:00～18:30(祝・祭日を除く)

[医療情報サイト] <https://ds-pharma.jp/>

2016.6作成



中外製薬

Roche ロシュ グループ

がんに立ち向かう患者さんに  
希望をお届けするのも、私たちの仕事です。

CHUGAI  
ONCOLOGY

ONCOLOGY(オンコロジー)は、腫瘍学・がん研究を表す言葉です。

すべては、患者さんが希望をもってがんに立ち向かえるがん医療の実現のために。  
私たち中外製薬は、革新的な医薬品の研究開発・生産・情報提供はもとより、  
患者さんやご家族、医療関係者に向けたセミナーの開催、最新がん医療の紹介  
など、さまざまな支援活動を行っています。

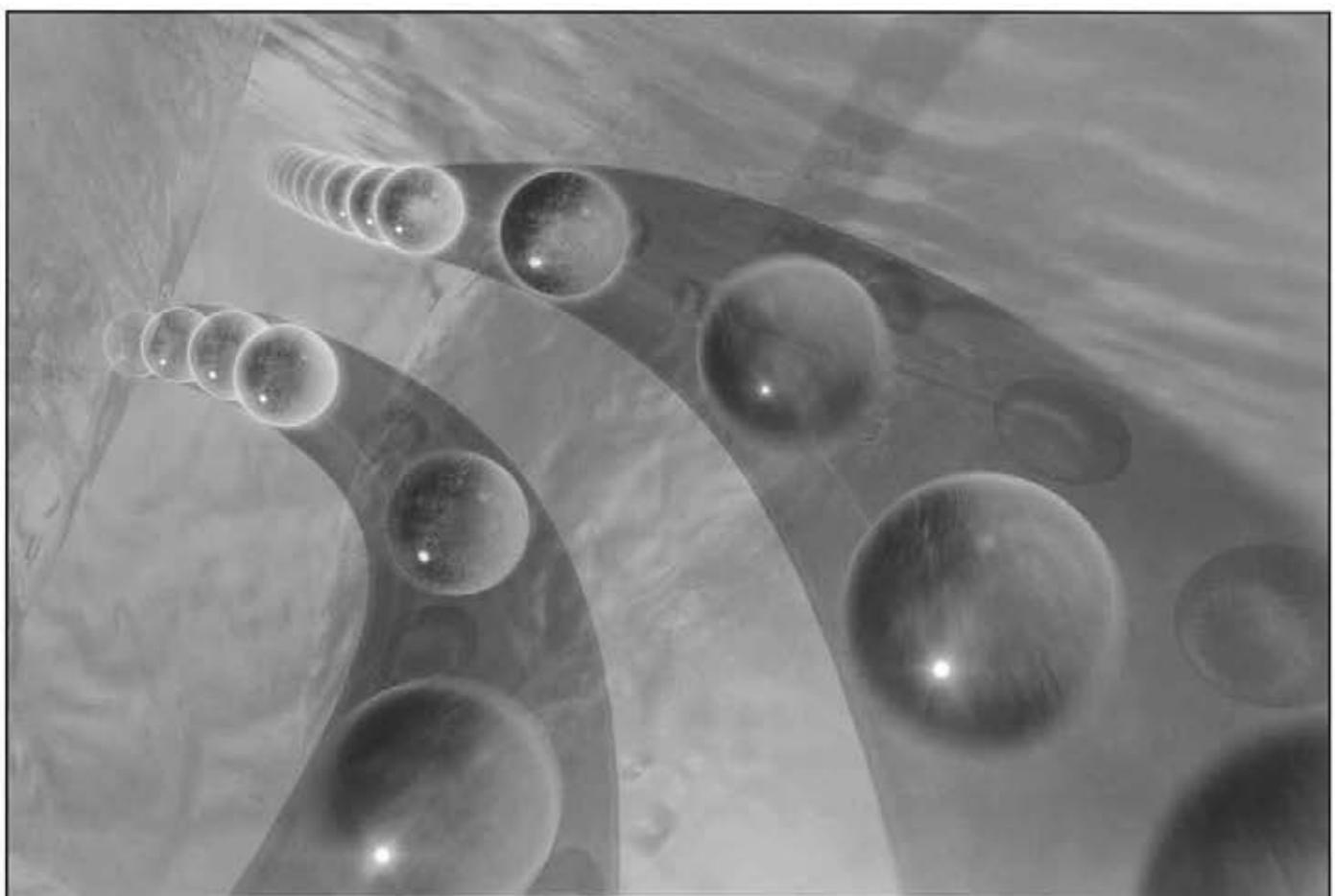
**がん医療の最前線で、ともに。中外オンコロジー**

がん情報ガイド

検索

<http://gan-guide.jp>





承認番号:22500BZX00269000

材料価格基準収載

高度管理医療機器 35449004

中心循環系血管内塞栓促進用補綴材

**エンボスフィア®**  
EMBOSPHERE®

承認番号:22500BZX00271000

材料価格基準収載

高度管理医療機器 35449004

中心循環系血管内塞栓促進用補綴材

**ヘパスフィア®**  
HEPASPHERE®



日本化薬株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目1番1号

LET'S WORK  
ONCOLOGY FROM BOEHRINGER INGELHEIM

Boehringer  
Ingelheim



製造販売

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

〒141-6017 東京都品川区大崎2丁目1番1号

資料請求先: DIセンター



抗悪性腫瘍剤 / チロシンキナーゼ阻害剤 [薬価基準取扱]

ジオトリフ錠<sup>®</sup>  
20mg  
30mg  
40mg  
50mg

アファチニブマレイン酸塩製剤

劇薬、処方箋医薬品（注意-医師等の処方箋により使用すること）

Giotrif®Tablets 20mg・30mg・40mg・50mg

「効能・効果」「用法・用量」「警告・禁忌を含む使用上の注意」「効能・効果に  
関連する使用上の注意」「用法・用量に関連する使用上の注意」につきまして  
は製品添付文書をご参照ください。



2016年3月作成



ふたつだから、  
できること。

世界に先駆けて、アンギオ用  
デュアルタイプインジェクター(2筒式)  
“PRESS DUO”

絶妙な造形を映し出す影絵のように、FPDを搭載した血管造影装置で、  
より診断能の高い造影効果が得られる“PRESS DUO”。

CT Like imaging対応デュアルタイプインジェクター(2筒式)です。

PRESS DUO  
Dual type Contrast Delivery System  
for CT Like imaging

株式会社 根本杏林堂  
東京都文京区本郷2-27-20 TEL.03-3818-3541  
<http://www.nemoto-do.co.jp>

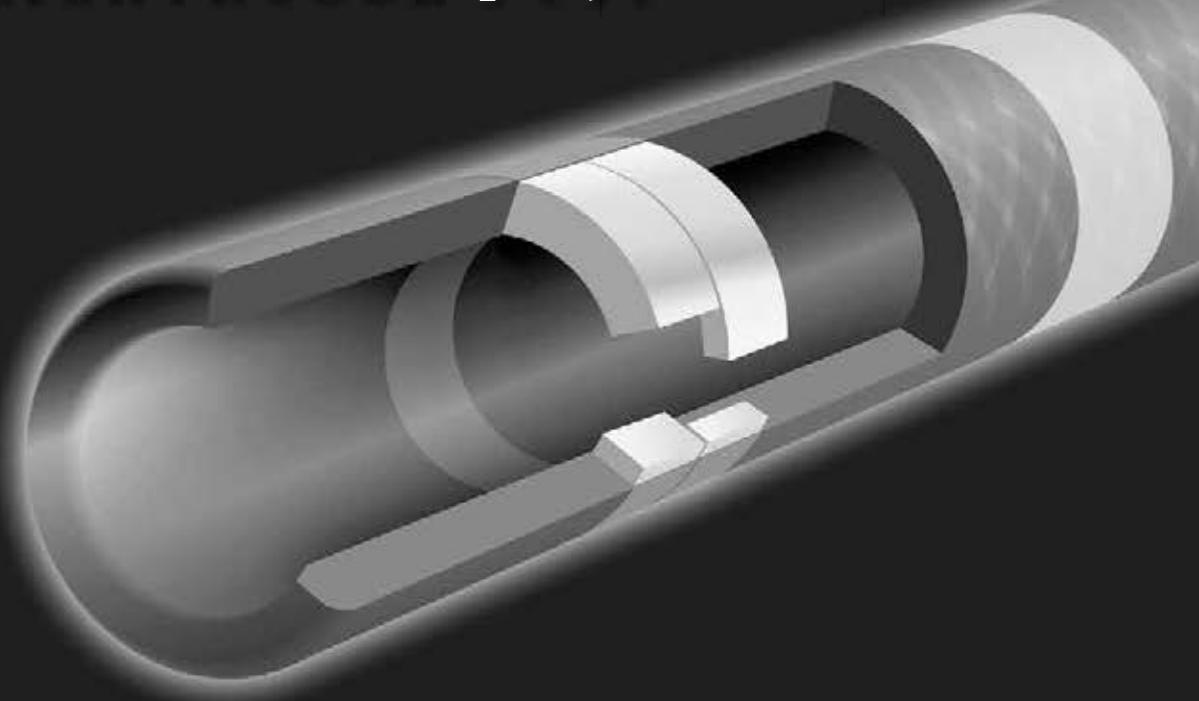




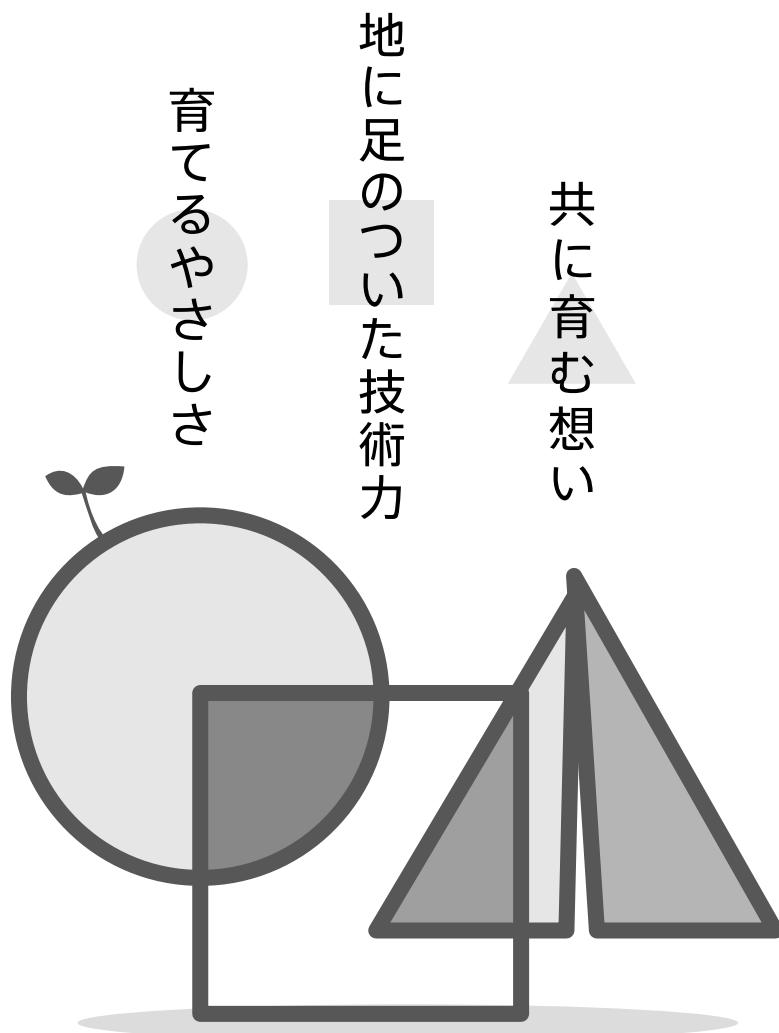
## コイル症例にフォーカス



併用塞栓物質が安全かつ安心して使用できる  
それが「LIGHTHOUSE®」です。



- 販売名：マイクロカテーテル
- 医療機器承認番号：21700BZZ00138000
- 医療機器分類：高度管理医療機器（クラスIV）
- 一般的名称：中心循環器系マイクロカテーテル
- 保険医療材料請求分類：1マーカタイプ マイクロカーボSB  
2マーカタイプ マイクロカーボコイル



臨床医療に携わるみなさまをお手伝いしたい、患者さまや病院のお役に立ちたい、地域医療を支えたい。そんな想いをこめ、お客さまと共に作りあげてきたのが当社のシステム・サービスです。

長年自社開発にこだわり、システム一筋で着実に培った技術は、信頼していただくに足る安定感があります。すみからすみまで知りつくしたシステムだからこそ、色々なご要望にお応えできるのです。

わたしたちは、臨床医療に携わるプロフェッショナルの方々と共に、先進的な技術と発想で、PACSやRISなどの医用システム・サービスを創造し、人の命と社会の安心を育んでまいります。

医療システムは **PSP** 株式会社

# 更なるやさしさを目指し、 日立CryoHitと共にはじまる 新しい低侵襲治療。

国内では、小径腎腫瘍への適用を機にスタートした凍結治療。

痛みや周辺組織へのダメージが少ないこと、

開腹下、腹腔鏡下でも使用可能のこと、

MRIガイド下で凍結範囲を正確にモニタリングできることなど

多くのメリットがあり、新たな低侵襲治療として注目されています。

日立は、CryoHitと共に凍結治療のスタートラインに立ち、

その先の可能性をみつめています。

患者さんへの、よりやさしい治療を目指して。

冷凍手術器

# CryoHit



製造元：GALIL MEDICAL社  
製造販売元：株式会社日立製作所  
販売名：冷凍手術器CryoHit  
医療機器承認番号：22200BZX00073000

特徴1 複数種のニードルで、腫瘍の形に適した凍結領域のアレンジが可能

特徴2 常温高圧ガスによるスピーディーな凍結／解凍が可能

特徴3 断熱材不要のフレキシブルなホースの取り回し



# Powered by Clarity IQ technology

新たな治療分野の開拓・ClarityIQテクノロジーにより、  
大幅な被ばく低減と卓越した高画質の両立を実現

innovation  you

販売名:インテグリス アルーラ フラットディテクター  
医療機器認証番号:21500BZY00208000  
設置管理医療機器／特定保守管理医療機器

記載されている製品名などの固有名詞は、Koninklijke Philips N.V.の商標または登録商標です。  
© 2014 Philips Electronics Japan, Ltd.

## AlluraClarity FDシリーズ 血管造影X線診断装置

株式会社フィリップス エレクトロニクス ジャパン  
[www.philips.co.jp/healthcare](http://www.philips.co.jp/healthcare)

**PHILIPS**



MRI用造影剤

薬価基準収載

# マグネスコープ<sup>®</sup> 静注38%シリンジ 10mL,11mL,13mL,15mL,20mL

## Magnescope<sup>®</sup> iv inj.38% Syringe

ガドリウム酸メグルミン注射液

処方箋医薬品 (注) 注) 処方箋医薬品:注意 – 医師等の処方箋により使用すること

「効能・効果」、「用法・用量」、「警告、禁忌(原則禁忌を含む)および使用上の注意等の詳細につきましては、添付文書をご参照ください。

製造販売元

ゲルベ・ジャパン株式会社

東京都千代田区紀尾井町3番8号 第2紀尾井町ビル3階  
<http://www.guerbet.co.jp/>

販売元

富士製薬工業株式会社

富山県富山市水橋辻ヶ堂1515番地  
<https://www.fujipharma.jp/>

Boston  
Scientific  
Advancing science for life™

# Interlock™ -35 Coil

Fibered IDC™ Occlusion System

**More Volume + More Fiber = MORE STRENGTH**



More Volume + More Fiber = MORE STRENGTH  
**Interlock™ -35  
Coil  
debut!!**

販売名：Interlock-35 コイル  
医療機器承認番号：22600BZX00207000

製品の詳細に関しては添付文書等でご確認いただくか、弊社営業担当へご確認ください。  
© 2016 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.  
All trademarks are the property of their respective owners.

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社  
本社 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス  
[www.bostonscientific.jp](http://www.bostonscientific.jp)  
PSST20151225-0900

# 「生命を支える使命感」



わたしたちは、医療の進化を支えつづけます



## 健康と科学に奉仕する 宮野医療器株式会社



本 社 〒650-8677 神戸市中央区楠町5丁目4-8  
☎(078)371-2121 (大代表)

大倉山別館 〒650-8677 神戸市中央区楠町2丁目3-11  
☎(078)371-2121 (大代表)

M S C 〒650-0047 神戸市中央区港島南町4丁目6-1  
ポートアイランド60 ☎(078)302-7001 (代表)

MSC ウエスト 〒654-0161 神戸市須磨区弥栄台2丁目12-1  
☎(078)797-2076 (代表)

神戸西営業所・明石営業所・阪神営業所・中兵庫営業所  
姫路営業所・北兵庫営業所

大阪支社・大阪北営業所・大阪中央営業所・大阪東営業所  
大阪南営業所

奈良営業所・奈良中和営業所・和歌山営業所・京都営業所  
舞鶴出張所

広島営業所・福山営業所・岡山営業所・鳥取営業所・米子営業所  
出雲営業所・さぬき営業所

名古屋営業所・東京営業所・神奈川営業所・鹿児島出張所

モイян神戸店・モイян姫路店・モイян阪神店  
モイян大阪店・モイян鳥取店

## **第30回中国四国IVR研究会**

発 行 平成28年9月

編 集 山口大学大学院医学系研究科 放射線医学分野  
〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1  
TEL : 0836-22-2283 FAX : 0836-22-2285

制 作 株式会社メッド  
〒701-0114 岡山県倉敷市松島1075-3  
TEL : 086-463-5344 FAX : 086-463-5345